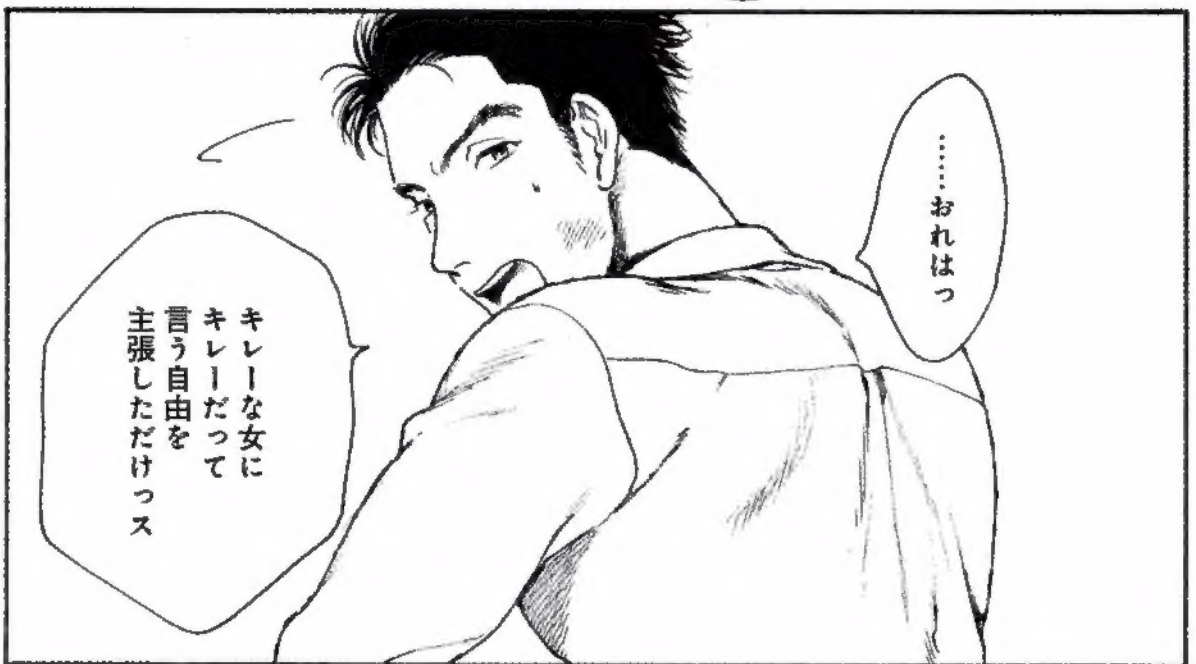
額装
めぐりあい、
解き放つ想い――。
つり まき のどか
釣巻 和
コミックス『のの湯』第2巻
(少年チャンピオン・コミックス・タップ!)
好評発売中!
人間の心の重力を描く実力派作家、ITAN待望初登場!!!

額装

☆この物語はフィクションです。実在の人物・団体・事件などとは関係ありません。

2

でたよーー
松助のタラシ

心にもねーこと言って
浮気な奴

えーー

いつだっておれぁ
この身ささげたいと
思ってますよ？

3

もとより絵画の販売をする小さな小売店だったのが――

先代の時分に額縁店として顧客を増やした額縁屋だ

画家の描いた絵に額をあつらえ作品として昇華させる

いい木地頼むぜ

へいっ

なんだよまた松助かァ

彫り師連中から評判でね

4

松助

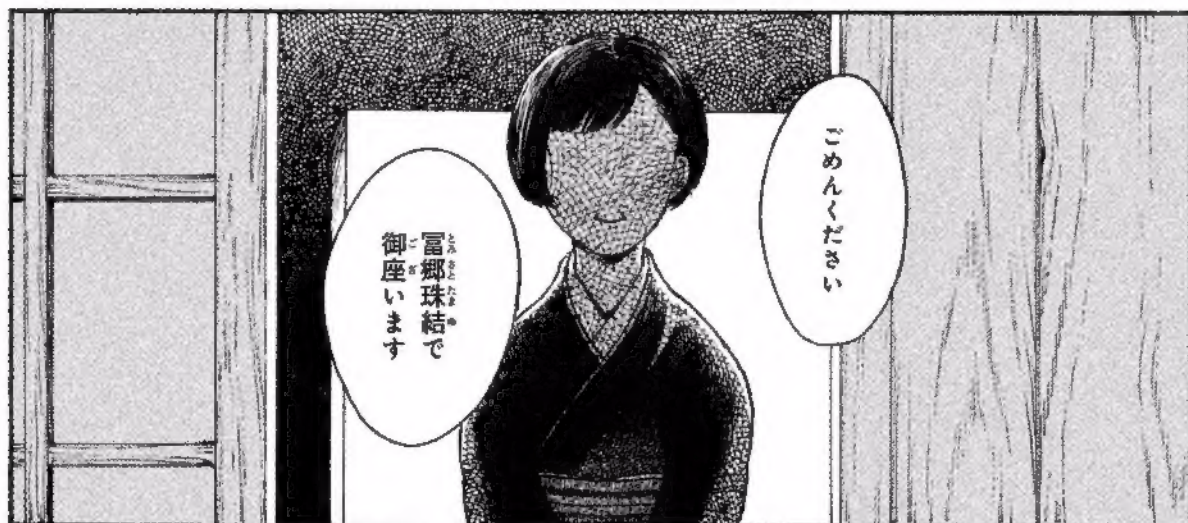
絵画に添いとげる

それがおれたち額縁職人の仕事

ごめんください
冨郷珠結で御座います

冨郷…… ——ああ 濡行先生の！
どうもごぶさたしております

今日はどの額のご相談で
あ奥へまいりますか？
いえ ここで

今日はお知らせにあがった次第でして
皆様にも……聞いていていただきたいものですから
はあ 何を……

冨郷濡行1週間ほどまえに
急逝いたしまして御座います
確かにさ
新作を披露すんなら数年ぶりだと思ったけどねえ……
そうか……
臥せっておられると聞いてはいたけどさ
通夜も葬式も身内だけ…って
なんだかこう…さみしくないかね?

冨郷濡行
もう十数年にわたる付き合いのある画家先生で
ウチの額装をいたく好まれた戦後遅咲きの作家だった
「つきましては代わりと言ってはなんですけども…」
「冨郷濡行回顧展をと考えておりまして——…」
「今までどおり 最期も燠田さんにお世話になりたく存じます」

松助！

しょーすけ おー—いっ 昼メシー
も—— ほっとけって 聞こえてねぇよ
あいつ濡行先生のファンだったですからね
え、そうなの？

ありゃ 失恋より 落ち込んでんな

おーっス
松ちゃん
何
くさってん
のよ〜〜

フラれたん
だって〜〜？
それより
おまえ 途中
すげぇ美人と
すれ違ったろ!?

ああ！ 濡行
先生んとこの
娘さんだろ？
美人に
なったなー
濡行先生
亡くなられたん
だって？
そう……
イヤ
ちょっと
まて
娘？

いつも一緒
だったじゃんか
ふたり暮らしで
おう 先刻も
挨拶にいらして
………って
ありゃ
奥さんだろう!?
ばか
ゆーなって
歳がどんだけ
離れてんだい
娘さんだよ？
濡行先生ん
とこは嫁さんを
もらってねぇはず
だもん
えっ

あれ――？
でも似てねぇよな？
しらねーよ
そりゃそーだよ
おまえんとこと一緒だろ

まああすこは血のつながりもないけどな

なんでも
濡行先生のお弟子さんの娘だそうだ

戦死して…引き取られたらしい
へぇ？初めて聞ーた
おまえが聞いても忘れてんだって！
でもま――…
あの美人だからなあ…たしかに

光源氏もありえ…
んなこと言われるほうの身にもなれっ

なんだよもー
おい松助！

額装

行く!

改めてでけー家
ご足労ありがとうございます
ここに２人ってあれま
どちらから始めます？
ええと
娘
なあなあ…なんか？ちがくないスか
は？
…………ふいんき
なんの？
だってほらなんか今日は……幼いって……ゆーかさあ
フンイキな
あ——珠結さんのことかいおめーは

女は化粧やら着るもんやらで変わるだろうが
遊んでるくせに何も学ばねーな
けとばしたら折れそーな足……
ギィ…
見るかぎり
額のあるものはウチであつらえたものがほとんどですな
これならなんとかなりますよ
しかし売り絵のほかにもこんなに眠っていたとは…

ええ 昔の…
筆名を改めるまえの
ものも御座います

濡行先生は
筆名を改められて
からが とくに
華ですな
たちまち
売れてしまうと
画商たちから
………

一度死んで生まれ
変わった……なんて
揶揄もあったくらい
絵が違う

……なあ 最後に ウチで潤行先生の 額装したのって いつスかね？
んー 3年まえ …かな？
神田の画廊で 小さい個展を したろ
ここ3年は 医者にかかってたってさ
ウワサじゃ ずっと 良くなかった みてぇだよ
絵筆も 最期は握れな かったって……
たった ひと部屋に
おさまって しまうもん なのか
画家の 一生って
……いけね ちょっと じんときちゃった
かお あらお
おずかしいブー
ズズッ

ばしゃ ばしゃ

お気に召しまして？
すんません勝手に……
濡行はこの3年世間的には筆を置いていましたけれど
描いてはおりました家の中でだけ……
これが最期の一枚です
——額に

この絵
額に入れてみませんか

いえ

この絵は……
途中(かきかけ)だから？

………あなたが作ってくださるのね？

額装

額職人なら

この絵にどんな額をつけてくださるのか見せて頂戴

はい

は
チュン…
チチチ
ピー

つと
寝てた
がばっ
やべー
何時
あ、
体いてェ

あ
よかったまだ
6時…

わたし
工房って
入るの初めて
ん～?。
わっ
え?
え―――と
娘さん……
珠結ですわ
わー
すごい
ねぐせ
入り口開いてたの
鍵こわれたまま
じゃない
社長から
あなたが朝晩に
作業してるって
聞いて
食べる?
おにぎり
やっぱ
そーだ
絵よりも
あんたのほうが
美人だよ

あっ べつに
先生の絵を
悪く言ってんじゃ
ないよ
あなた
いくつ？
え おれ？
19だよ
あんたは？
あなたよりは
長く生きてるわ
そーいや
あんたん
とこも
もらいっ子
だってね？
ウチも
おれのウミノ
ハハオヤって
東京でさぁ
空襲でやられて
ってあれ
覚えてない
けどー
近所の人が
おれのこと見つけて
そんでしばらく飯
食わせてくれてたって
親戚だからって
引き取って
もらってさ
ウチは子どもが
いなかったからって
社長言うけど
あっ しゃけだ

瘦せっぽちのおれ見て
抱き上げたらあんまり軽くて泣いちまったって
今でも母さんがよく言うんだよ
……………
愛されてんのね
………
う———ん？
おれじつは愛ってよくわかんないんだよな
あら多情な坊やだってよく聞いてるわよ
女抱きたいと思うのは性欲でしょ
…あんたって明朗な人
何それほめてる？
そっちの話もしてよ

珠結が生まれて独り立ちした父の絵も売れはじめ———……

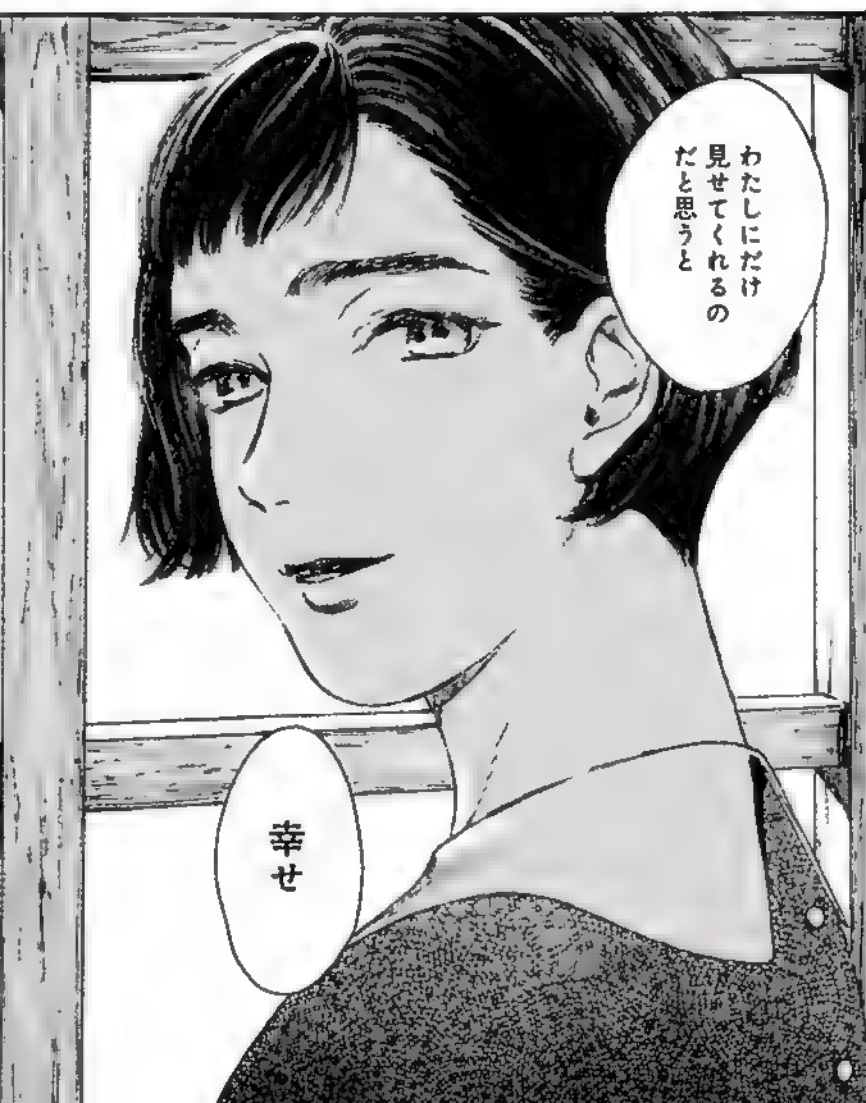
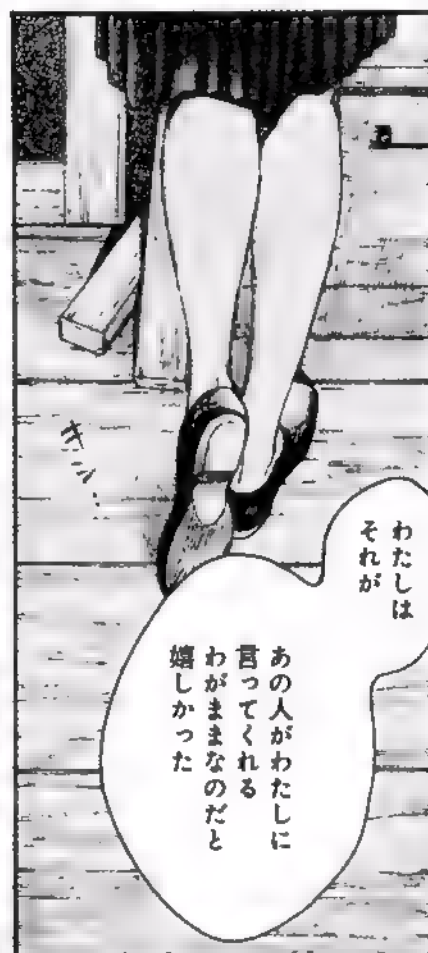
しかし戦局は悪化絵を描く間もなく徴兵された

疲れてたのも本当かなって
わたしは
恨むかい？
フッー
聞きにくいこと聞くのねあなたって
そうかな？
でもね？捨てられたことは
わたし感謝してるくらいなの
どうして……
……
わからない？

無邪気な人だったの

ご機嫌だと もうにこにこしてね 機嫌を損ねると 手が出るわ

何度あの手にぶたれたか

——でも そのたびに謝るの

それは 本当に
あんたの望む
献身？

――望む？

おれは
幸せって

わたしに

あなた
みたいに
なれっていうの？

見失ってしまった

あら
松ちゃんいらっしゃ――――い
久しぶりなんじゃな――――い
もっと来てよォ
うむ

わかんね

すみちゃんなら非番…
あ
また別れたんだっけ?
ハイ…

じっ

なあに
好きな子ってさあ
うん?

ふつう
人よりかわいく見えたりするもんだよな?
ほら
うちの子が一番かわいい、みたいなこととかさ

そりゃあ……まあ 私たちも 恋人はすてきに 見えるかな
よなー
何? それ しゃしんー?
あら
女のひと ……の絵
なんで 写真なの お仕事?
そーなん だけど…
美人な ひと～ モデルが いるの?
でも さーあ
この女お化粧しないのね
ってかんじ しちゃう
私だったら 描いてもらうなら きれーにして いく♡
がたん
からん からん
って 松ちゃん 帰るの!?

なあ どう思う?

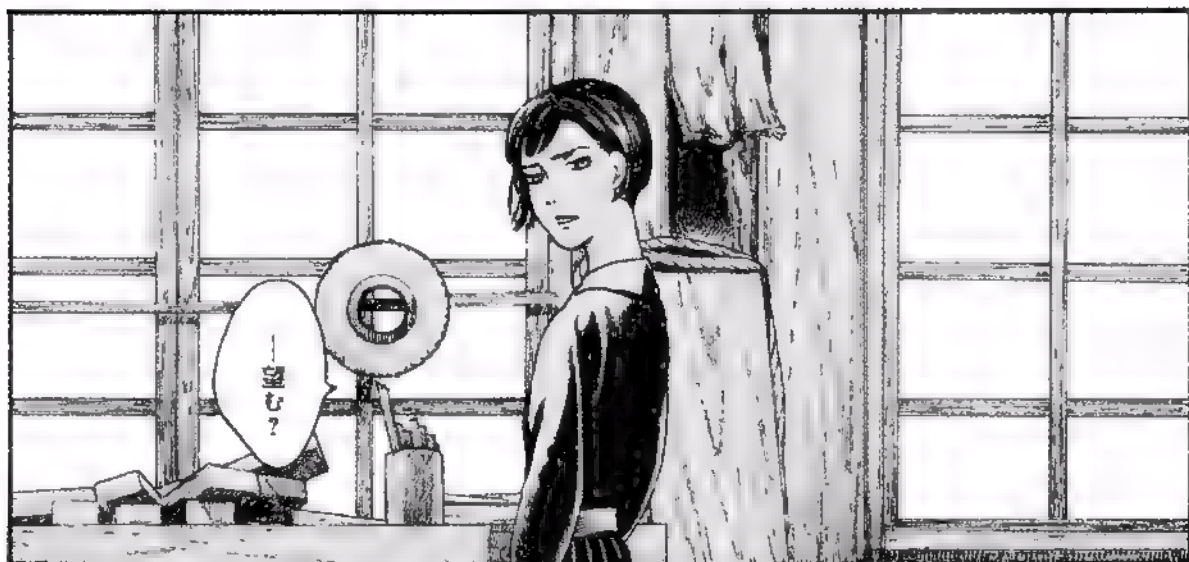
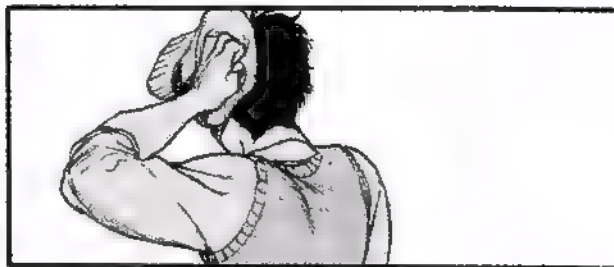
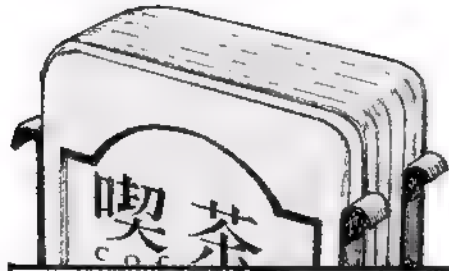
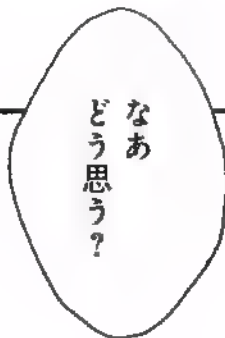
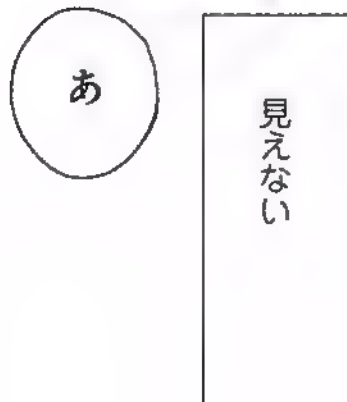
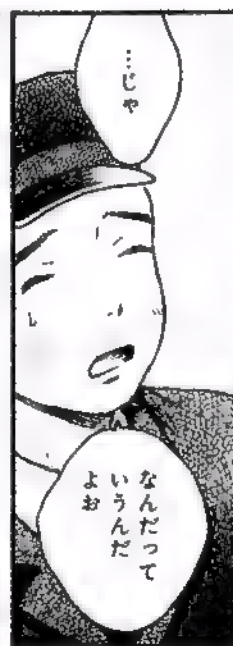
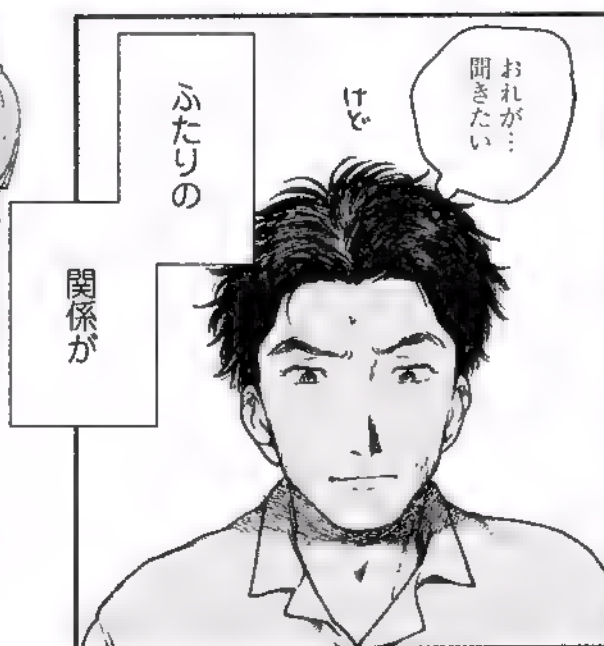
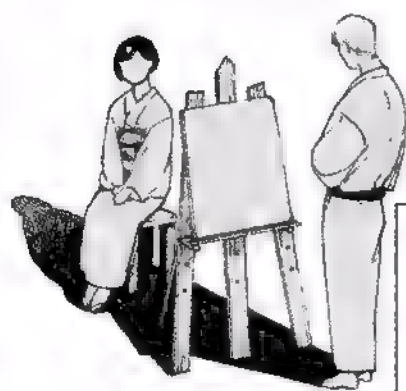
濡行先生んとこのむす
そりゃわかってるって
おせんぼ
なくくくおれ仕事中なんだぞ！

どおって

これ自分の愛する女を描くならもっとつやがあっていいいだろ？
反対にかわいい娘なんだとしたら
こんな表情させて描くかい？

…じゃ
なんだっていうんだよお

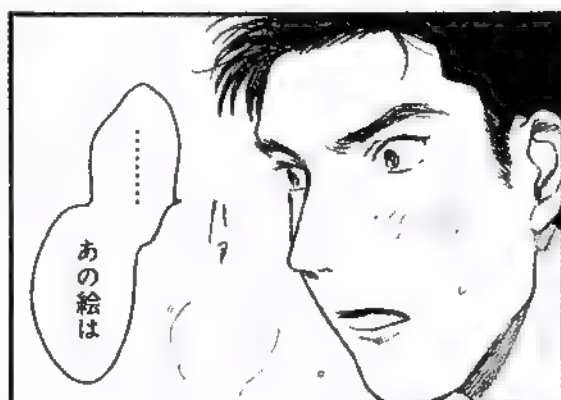
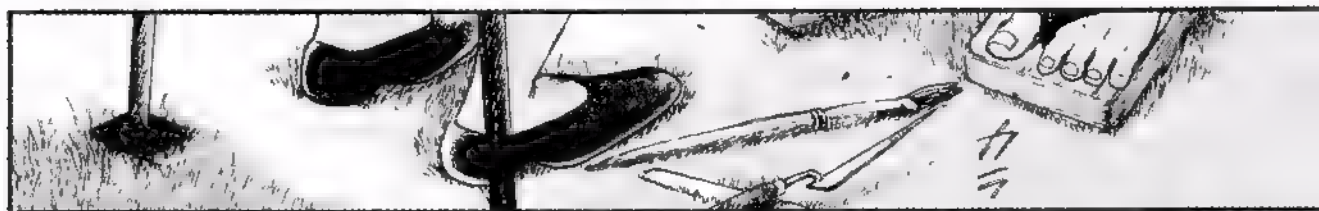
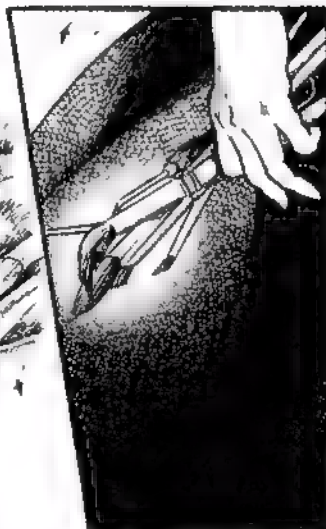
おれが…聞きたい
けど
ふたりの
関係が

見えない
あ

そういや濡行先生
ここ数年はもう目がお見えでなかったって？
うそを
ついているのは
何やってんですか

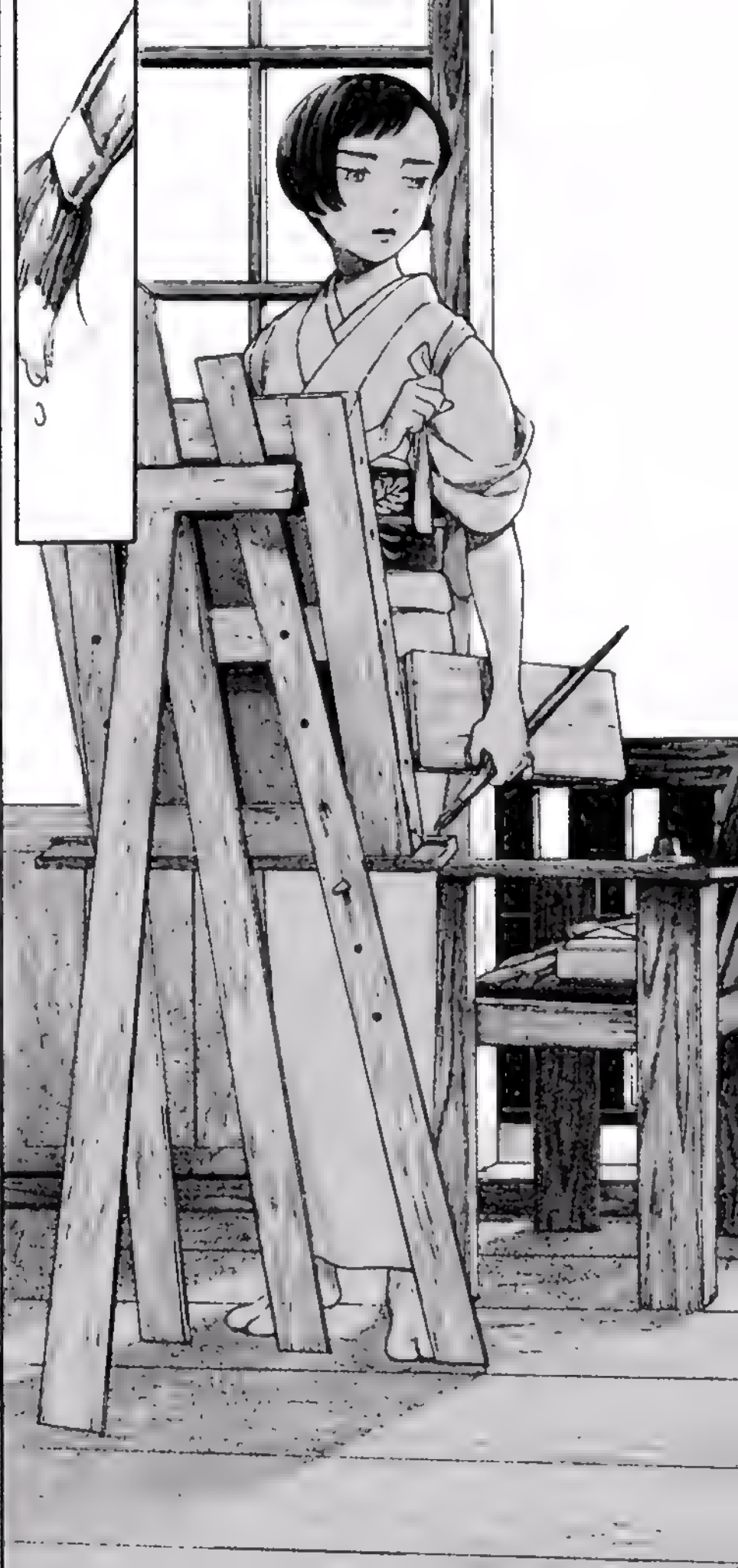
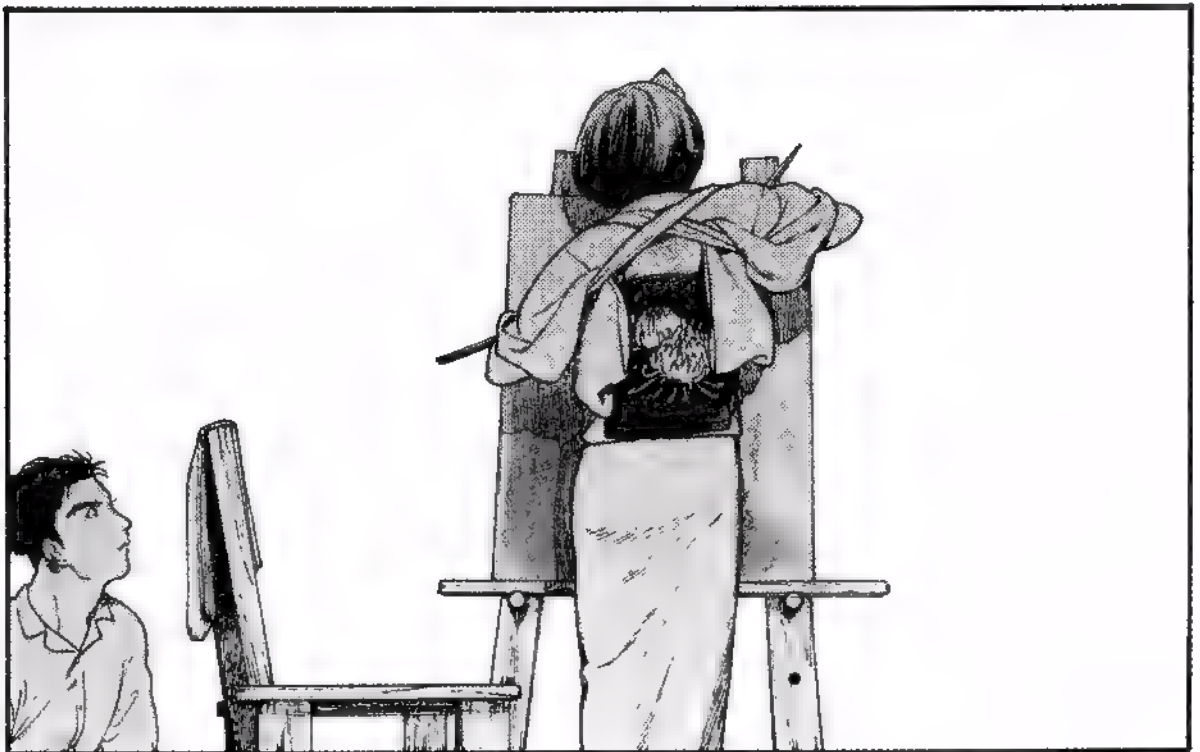
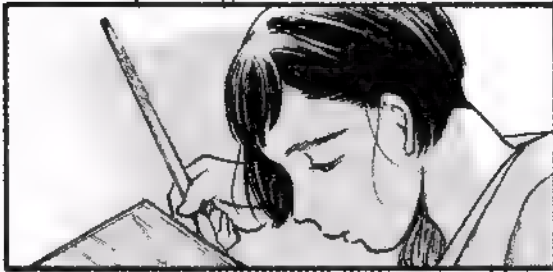
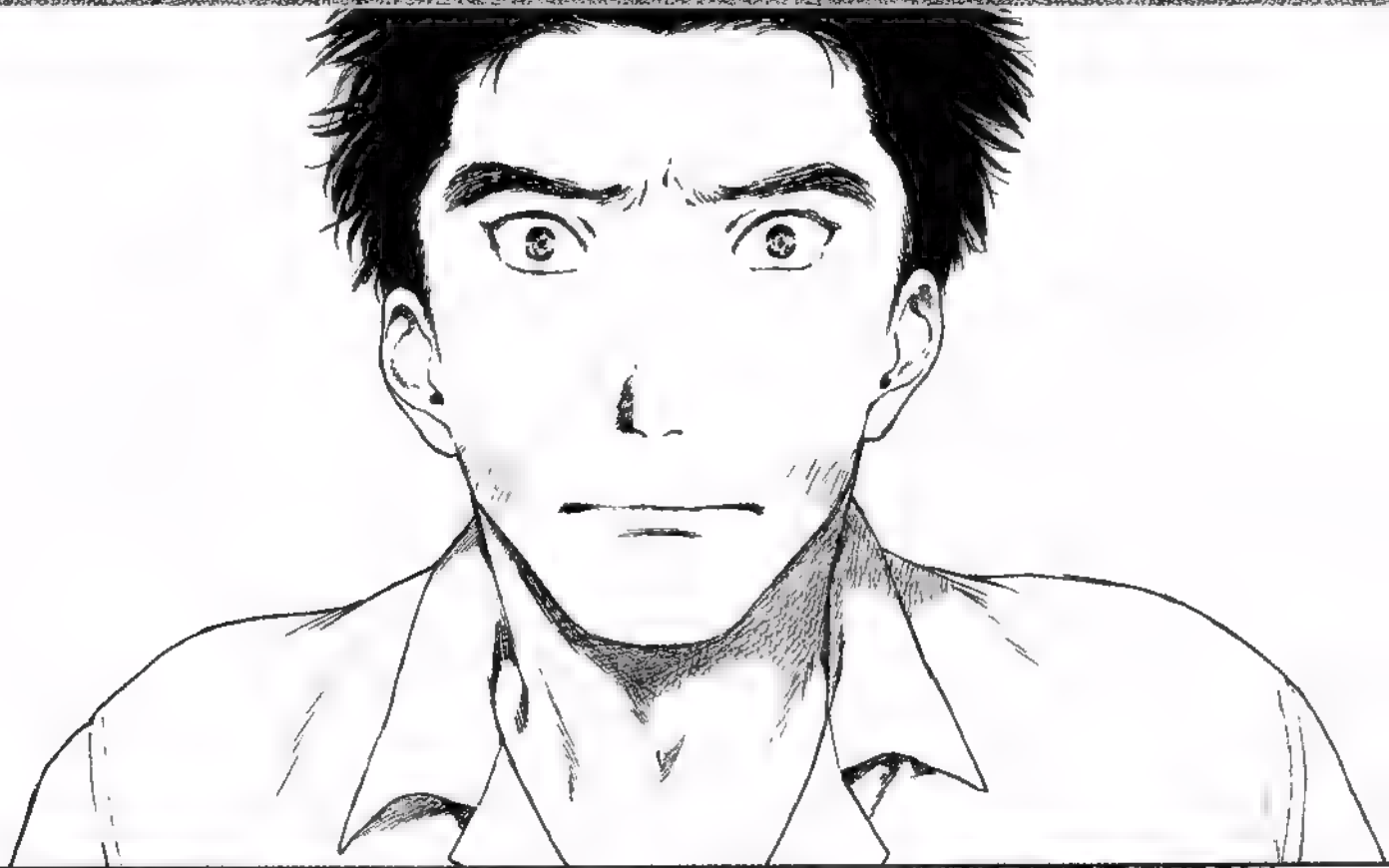
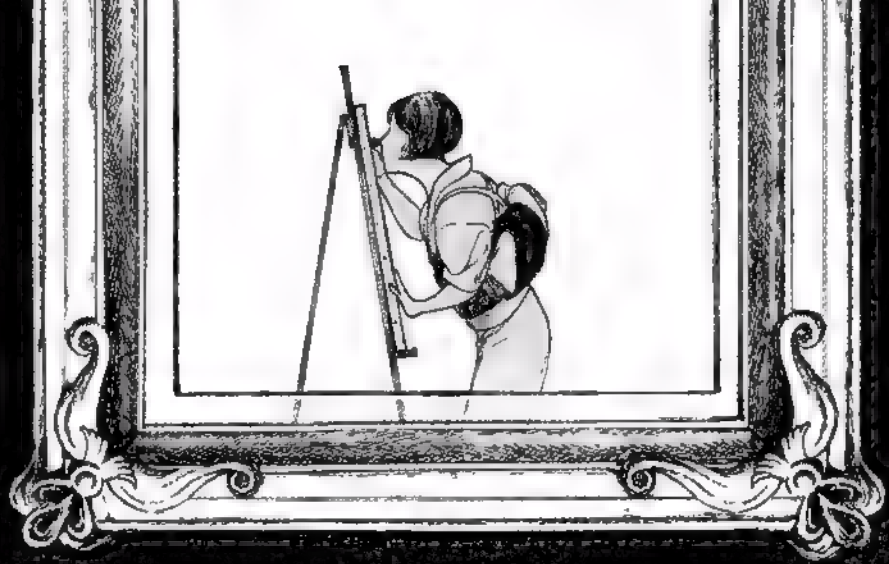
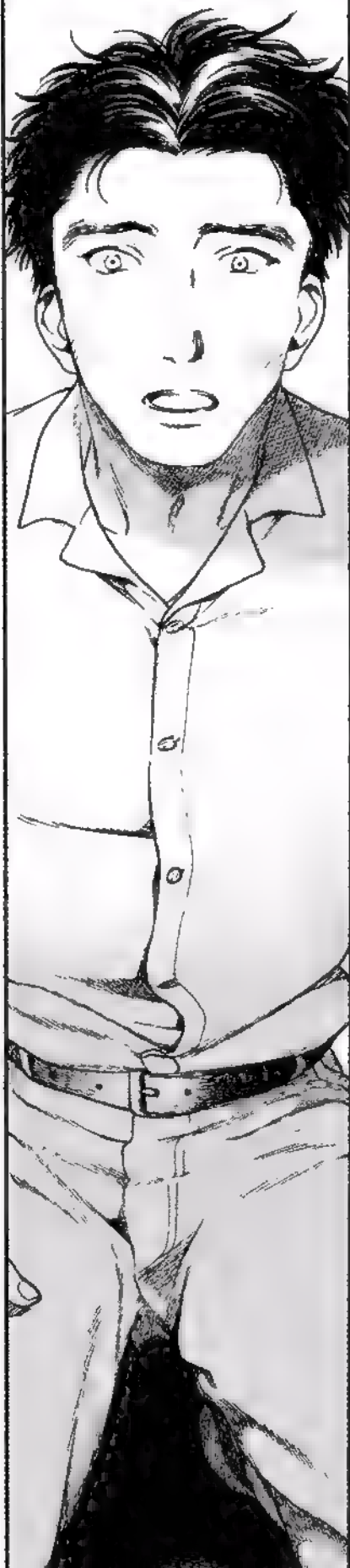
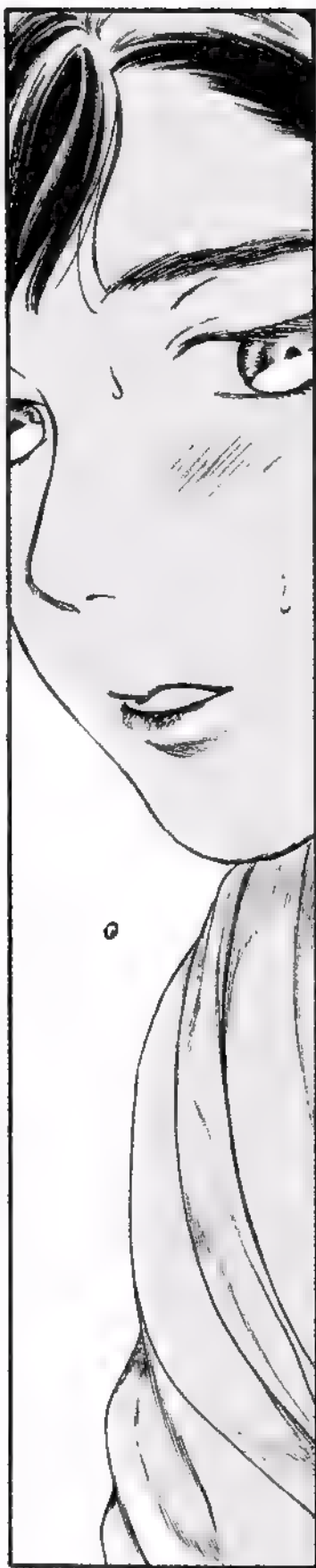
ばか！やめなさい

こっちが言いてぇよ

富郷濡行なんて
いないのよ

濡行は
わたしと
先生の……
ふたりで描いた
筆名だもの

額のお代はお支払いしますわ
言い値でかまわないから絵と額 それと今の話もすべて燃やしてください
金なんかいらねえ
今晩

見せてくれよ
ギュ

カシャンッ

描きつづけてくれ
描きたいんだろ?
最後まで隠すつもりなら誰にも見せなきゃよかったんだ
あんたがおれに絵を見せたんだよ
絵描きの性だ

……やめて
〝濡行〟はもう
いないんだもの

最期に一度
誰かに見て
ほしかっただけ

だったら
これから自分の
絵を描いたら
いい！
簡単に
言わないで

こわいわ
自分をむき出し
にして生きてく
なんて………
誰も
助けてくれない
のによ

おれがいるよ

額縁は絵と添いとげるためにあるんだ
あんたの絵には

一生
おれが額をやる
あなたもう
わたしより先に死ねなくても？
………一生？

死ぬまで

この身をささげるなら

『額装・おわり』

★釣巻和先生の次回作にどうぞご期待ください!★